

公開シンポジウム「災害からあなたを守る科学技術との対話」に関する準備メモ（10/1 修正版）

1. 主 催：日本学術会議科学技術を生かした防災・減災政策の国際的展開に関する検討委員会、
日本学術会議土木工学・建築学委員会 IRDR 分科会
2. 日 時：平成 30 年 10 月 13 日（土）12:30～14:00
3. 場 所：東京ビッグサイト（東京国際展示場）会議室（120 名収容）

4. 開催趣旨：

科学技術が生み出す知見や情報をうまく使えば、あなたの生命・財産を災害から守ることに役立てることができる。とりわけ近年の情報通信技術(ICT)の発達は目覚ましく、防災・減災に関する行政機関や市民団体と科学技術分野が、ICT を用いて「対話」することが可能となっている。ICT の最先端を拓く斯界の第一人者を迎え、行政・市民団体・学術分野の代表が熱く語り合う。

2015 年に仙台で開催された第 3 回国連防災世界会議での議論を受けて、2020 年までに各国のナショナルプラットフォーム（国家防災組織）や各地方組織の実施戦略を策定することが国際的に決められている。防災大国日本の英知を集め、我が国はもとより世界を守る道筋を明らかにしていかなければならない。

災害からあなたを守る未来の姿を一緒に考えてみたい。

5. 次 第：

- 12：30 開会挨拶（含む、本企画の背景紹介） 小池 俊雄
- 12：35 講演（市民）：「科学技術を活かした市民による防災・減災活動」
池上 三喜子（公益財団法人市民防災研究所理事）
- 12：45 講演（学術）：「科学技術と市民・行政・産業との対話の必要性」 西川 智
- 12：55 講演（行政）：「民学産公の協働」で進める ICT を活用した災害対策
清原 慶子（東京都三鷹市長）
- 13：05 基調講演：「ソーシャル・ビッグデータと防災の新潮流」
喜連川 優（国立情報学研究所所長、 東京大学生産技術研究所教授）
- 13：25 パネルディスカッション 座長：川崎 昭如、 登壇者：講演者全員

【依頼】「メッセージ」の事前提出依頼

クロージングセッションで、2 日間の計 35 セッションの総まとめとして、大会の趣旨である「自助・共助」、「多様な主体の連携」及び「地域における防災力の向上」に沿った各セッションからの「メッセージ」を口頭で発表します。

「メッセージ」はセッションを通じて訴えたいこと、セッションの結論などで 160 文字以内にまとめてください。

メッセージたたき台：

- ・ 頻発する地震、津波や水害等に対して、科学的知見を政策や人々の行動に反映して災害リスクを軽減する取り組みは今なお途上であり喫緊の課題である。科学技術分野は、情報通信技術（ICT）を駆使して産学官のデータを統合・共有することで、市民が行動に移せる情報とその発信の仕組みを創り出すとともに、市民・行政・産業と科学技術との対話を促進する必要がある。（167 文字）

→ クロージングでは、各セッションからのメッセージを8分間にまとめて発表する（By 池上さん）。従って、一つ一つのセッションの紹介はせずに、総論を示す。

→このセッションの特徴である「市民と科学技術との対話を促進する」をどういう場面で、どのような対話を持つのか？を具体的に示せると良い。

→大会後にセッションごとのメッセージをホームページ上に掲載するので、その際に修正の機会がある。

パネルディスカッション 30分、パネリスト4名

テーマ「頻発する地震や津波、激甚水害などに対して、市民による自助・共助力を増強するために、科学技術分野は何をすべきか？」

- ・ 池上氏への質問
 - 「市民の自助・共助力を高めるために、科学技術は何ができるか？」
 - 「今、それが実現できていない障壁は何が？」
- ・ 西川先生への質問
 - 「市民の自助・共助力を高めるために、地域コミュニティに対して、大学ではどのような取り組みをしているか？」
 - 科学技術と市民・行政・産業との対話
- ・ 清原市長への質問
 - 「学術分野での長いご経験を持つ清原市長は、行政における科学技術の活用に関する現状をどう見るか。」
 - 「「民学産公の協働」の現状はどうか？」
- ・ 喜連川先生への質問
 - 「情報工学の専門家として、防災・減災分野での ICT 活用の現状をどう見ているか？」
- ・ 会場からの質問（2-3 件程度）
- ・ まとめ→メッセージ文

13：55 閉会挨拶 寶 馨

14：00 閉会

5. 当日の役割分担：

- ・ 司会：
- ・ 記録（写真）：
- ・ 記録（議事録）：
- ・ 会場のライト消灯担当：
- ・ 質問用のマイク担当（2名）：
- ・ パネルディスカッションの机の用意（4名）：

→川崎の方で、担当者を割り振らせて頂く

（司会は私が担当させていただき、その他の役割は当日ご依頼させていただきます）。